7　きょう土の伝統・文化と先人たち

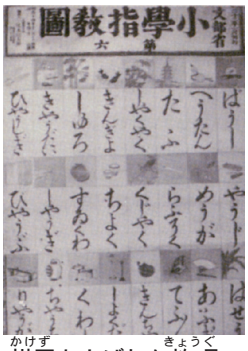
（1）地いきでつくられた学校

当時の学校の様子について調べてみましょう。
今とどんなちがいがあるでしょう。

1872（明治５）年，国民はだれでも６才になると，小学校へ入学するよう定めた法律ができました。そのため，あちこちの村や町で小学校がつくられるようになりました。すべての人びとに教育を受けさせるという願いから，全国に５万４千ほどの小学校ができました。

わたしたちは，わたしたちの学校がいつごろできたのかぎ問に思いました。そこで，学校のなりたちと昔の学校の様子をくわしく調べることにしました。

1887（明治20）年の大洲小学校の校舎



掛図とよばれた教具

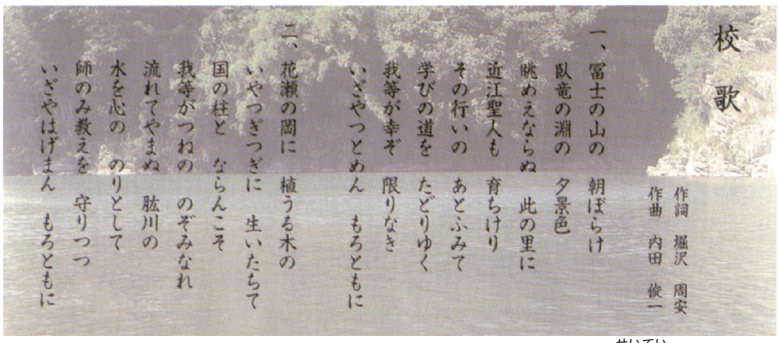
同じ教室の中に6，7才の子もいれば，20才くらいの青年もいて，年れいがまちまちでした。女子は少なく，ほとんどが男子でした。子どもたちは大らかにすごしていました。

大洲には江戸時代に，武士の子どもたちが通う「止善書院明倫堂」という学校がありました。

また，読み書きそろばんを教えた「寺子屋」という学校も30ほどありました。

大洲小学校は，明治時代に「神山県第二本校」として創立されました。大洲だけでも，小学校が37校もつくられました。学問を学んだ人びとは，教育がたいせつなことだとわかっていたので，学校に大きな期待をしていました。

当時の学校は，寺や民家を代用したところがほとんどでした。また，教師や子どもの数も少なく，勉強の様子は，寺子屋のころとあまりかわりませんでした。


校歌

一、富士の山の　朝ぼらけ
　臥竜の淵の　夕景色
　眺めえならぬ　此の里に
　近江聖人も　育ちけり
　その行いの　あとふみて
　学びの道を　たどりゆく
　我等が幸ぞ　限りなき
　いざやつとめん　もろともに

二、花瀬の岡に　植うる木の
　いやつぎつぎに　生いたちて
　国の柱と　ならんこそ
　我等がつねの　のぞみなれ
　流れてやまぬ　肱川の
　水を心の　のりとして
　師のみ教えを　守りつつ
　いざやはげまん　もろともに

作詞　堀沢　周安
作曲　内田　俊一

大洲小学校の校歌　1919（大正8）年制定と大洲小学校の校しょう

みなさんの通う学校は，いつごろつくられたのか，今とどのようなちがいがあるのかを調べ，昔の人びとの願いや努力について考えてみましょう。

調べ方のポイント

◎調べること
- 校しゃの様子
- 校名のうつりかわり
- 児童数の変化
- 学校生活の様子
- 校歌の意味

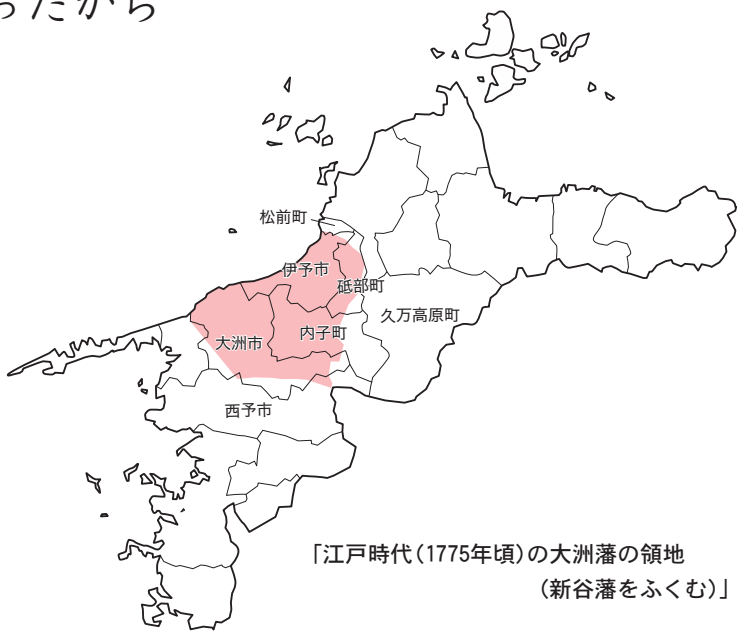
◎調べる方法
- 学校に残されている古いものを調べる。
- いろいろな人から話を聞く。

◎まとめ方
- 年表をつくる。
- 絵にかく。
- グラフをつくる。
- 新聞を作る。

（2）砥部焼と大洲藩

砥部焼は砥部町の特産品です。ところが江戸時代の資料を見ると，大洲藩の特産品であると書かれています。これは，現在の砥部町は，江戸時代には大洲藩の領地だったからです。江戸時代の大洲藩の領地は，現在の大洲市よりもずいぶんと広く，現在の内子町や伊予市，砥部町にまで広がっていました。

砥部焼　梅野精陶所(梅山窯)　f -001



「江戸時代（1775年頃）の大洲藩の領地（新谷藩をふくむ）」

江戸時代に書かれた『大洲秘録』には「陶茶碗之類ヲ造リ出ス　トベヤキ ト云」という文があります。これにより，この頃よりも前に，砥部では，陶器が作られ，特産品として有名だったと考えられます。

1775（安永４）年に大洲藩の９代藩主加藤泰候が，砥部でとれていた砥石のくずを使って磁器をつくるように命令を出します。命令をうけた杉野丈助は，のぼりがまを作ったり，肥前の国（現在の佐賀県）から焼き物のせんもん家をまねいたりして研究します。何回も失敗をくりかえしながら，３年の月日をかけて1777（安永６）年，ついに磁器づくりに成功しました。

砥部焼は，今は，大洲市の特産品ではありませんが，砥部焼が生まれるきっかけは，大洲藩の政策でした。

磁器と陶器

磁器　原料が石で，高い温度で焼くので硬い。

陶器　原料が土で，低い温度で焼くので割れやすい。

砥石山

のぼりがま（梅野精陶所梅山窯）

原料の陶石

のぼりがまの中　梅野精陶所(梅山窯)

昔は，赤松（砥部のまわりの山からは赤松がたくさんとれました）を原料にして丸４日間焼き続けました。

末永家住宅旧主屋

瑞龍寺（沖浦観音）

坂本龍馬らの宿泊の地

長浜大橋（開閉橋「赤橋」）

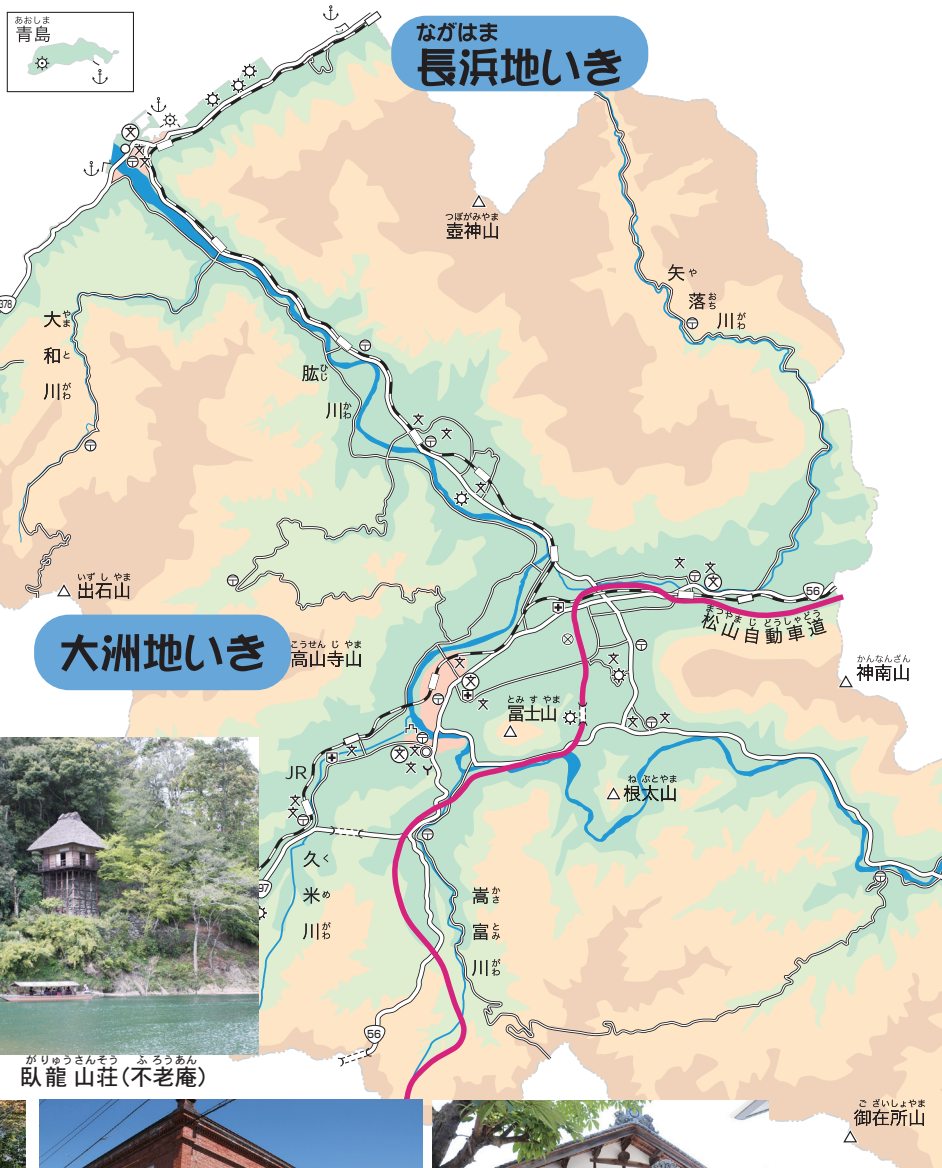
出石寺

如法寺仏殿

少彦名神社参籠殿

八幡神社

臥龍山荘（不老庵）



おはなはん通り

おおず赤煉瓦館（旧大洲商業銀行）

麟鳳閣

ふるさと歴史マップ

～古くからのこるたてもの～

長浜支所

大洲城天守

大洲城苧綿櫓

御幸の橋（屋根つき橋）

天神社

大洲城三の丸南隅櫓

歴史民俗資料館

小藪温泉

客神社

大谷文楽の伝習館

鹿野川ダム

うかい（6月～9月）

いもたき（8月～10月）

大洲川まつり花火大会（8月）

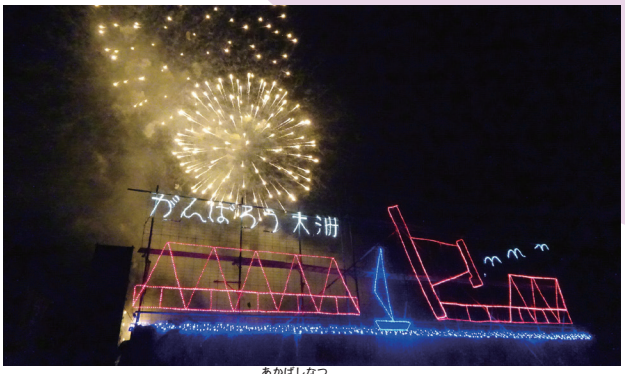
大名行列（11月）

おおず浪漫祭（11月）

かわべふるさと祭り（8月）

青島の盆踊り（8月）

寒中水泳大会（1月）



ながはま赤橋夏まつり（8月）

白滝るり姫まつり（11月）

ふるさと歴史マップ

～古くからつたわる年中行事・芸能～

大洲神伝流泳法

伊予長浜豊年踊り

臥龍太鼓

正山太鼓

子どもすもう甚句

亥の子

藤縄神楽

豊茂五ッ鹿踊り

秋祭りのみこし

牛おに

河辺鎮縄神楽（山鳥坂鎮縄神楽）

大谷文楽

行事などの名前	時　期	場　所・その他
観光さくらまつり	3月下旬～4月下旬	城山公園，冨士山公園，祇園公園
沖浦観音春季大祭	4月17日	瑞龍寺(長浜町沖浦)
大えびね展	4月20日～5月5日	日本えびね園(長浜町須沢)
つつじまつり	4月25日～5月15日	冨士山公園
臥龍の渡し	4月1日～5月31日	肱川(臥龍山荘下)　(日・祝)
鹿野川湖ドラゴンボート大会	5月上旬～下旬	鹿野川湖(肱川町)
うかい	6月1日～9月20日	肱川
ほたるまつり	5月末～6月中旬	矢落川(柳沢)，地蔵堂(平野)
水天宮花火大会	7月21日	肱川
ながはま赤橋夏まつり	8月第1土曜日	長浜赤橋広場(長浜町)，花火大会
大洲川まつり花火大会	夏の陣　8月3日 冬の陣　1月上旬	肱川肱南河原，肱川肱北河原
鹿野川夏まつり	8月中旬	鹿野川湖(肱川町)，花火大会
河辺(山鳥坂)鎮縄神楽(夜神楽)	8月13日	肱川町岩谷
青島の盆おどり	8月13日，14日	長浜町青島
かわべふるさと祭り	8月14日	ふるさと公園(河辺町)，盆踊り，花火大会
いもたき	9月上旬～10月下旬	肱川河原
“わらじで歩こう 坂本龍馬脱藩の道”	9月第4日曜日	河辺町(15km)
河辺ふれあいフェスタ	10月中旬～下旬	ふるさとの宿付近(河辺町)
もみじまつり	11月1日～30日	新谷稲荷山公園，白滝公園
大洲まつり	11月2日，3日	市内一円(おなり)，肱南地区
えひめYOSAKOI祭り	11月上旬	市内一円
白滝滝まつり	11月第3日曜日	白滝公園
白滝るり姫まつり	11月23日(勤労感謝の日)	白滝公園
肱川ふれあいまつり	11月中旬	風の博物館横(肱川町)
雲海まつり	11月第3日曜日	雲海展望台公園(柳沢)
えびすまつり	1月9日～11日	大洲神社
寒中水泳大会	1月(成人の日)	肱川
祇園まつり	旧正月の元日～4日	八多喜祇園神社

(令和(れいわ)4年1月27日現在)